

電波時計（掛時計）取扱説明書

取扱説明書番号 M250-CXXT

～ 製品の特長 ～

この時計は簡単にすぐ使え、受信性能に優れた電波時計です。

- 強制受信ボタンを押すと記憶しているほぼ正しい時刻を示します。
- 標準電波に加えて、より受信しやすいAMラジオ放送に対応することで、時計が設置できる範囲が広まりました。
- 設置場所で受信できるかはお手持ちのラジオで確認いただけます。

お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品（電子回路など）は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、外装部品（ケース類）の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。
保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です

発売元 **リズム時計工業株式会社**〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jpお問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**





受付時間 9:00～17:00（土日、祝日および当社休日を除く）

お問い合わせに際しては、時計裏面に表示してあります製品番号（型番）をお伝えください。例 4MY○○○


CITIZENはシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。 (Y1007)


安全にお使いいただくために（はじめにお読みください）


ここに示した注意事項は、あなたや他人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について	
表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。	お守りいただく内容の種類を、下記の表示で区分して説明しています。（表示の一例です。）
 「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。	 してはいけない「禁止」内容です。
 「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。	 必ず実行していただく「強制」内容です。


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所。暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下の所では、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多い所。
- ほこりが多く発生する所。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁力の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。
- 静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的に汚れを落としてください。

時計の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。
- 表示用およびバックアップ用の内蔵電池を取り外して廃棄してください。

静電気の影響について

静電気により、誤作動をすることがあります。このようなときには、強制受信ボタンを押してください。

電波時計について

スリーウェイとは

日本標準電波の40/60kHzにAMラジオ放送（時報）を加えた3つの電波で、時計の時刻を正確に保つための仕組みです。

電波時計とは

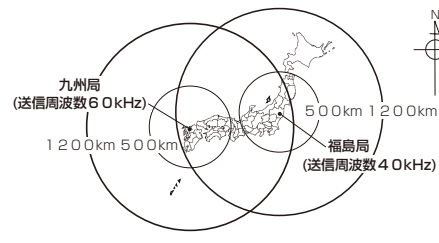
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。
※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。
標準電波送信所は、「福島局：おたかどや山標準電波送信所」と「九州局：はがね山標準電波送信所」の2カ所にあります。
標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jjy.nict.go.jp)

標準電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害（太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯（昼／夜）あるいは地形や建物の影響など）により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

電池のご注意（電池の正しい使い方）



電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス（+）、マイナス（-）を間違えない。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。
- 幼児の手が届かないところに置く。


電池の種類について


- 本製品は 電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。Ⓢ **アルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。**
- 一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。（例：Panasonic オキシライド乾電池）

取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。
 ●電池に傷をつけたり、分解しない。 ●電池をショートさせない。
 ●電池を充電しない。 ●時計を使用しないときは電池を取り外す。
●電池が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。


 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置き電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まい地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

おもな製品仕様

時間精度	電波受信成功直後の表示精度				
	秒針 ±1秒	時針/分針	目盛りに対して±3度		
	電波を受信しないとき				
	平均月差±20秒（常温中のクォーツ精度）				
使用温度範囲	-10℃～+50℃				
使用電池	表示用：単3形アルカリ乾電池	JIS規格LR6	6個		
	内蔵：コイン形リチウム電池	CR2032	1個		
電池寿命	表示用：約5年	標準電波の受信に成功して、暗所秒針停止時間が7時間/日のとき			
	内蔵：工場出荷時より5年以上（交換不要）				
標準電波受信局	標準電波を受信して時刻を修正				
受信回数	福島局/九州局	自動選択			
サーチ機能	最少1回/日、最多6回/日				
AMラジオ放送	受信局、電波の強弱表示				
受信時刻	毎正時の時報放送を受信して時刻を修正				
受信期間	毎正時（56分ごろから開始）				
受信機能ON/OFF	AMラジオ放送の受信モードになってから最長で約11日間				
手動時刻合わせ	ボタン操作				
暗所秒針停止	ボタン操作で可能				
電池の交換時期	明暗センサーと連動して、暗になると秒針を12時位置に停止				
お知らせ機能	交換時期になると秒針が常時12時位置に停止				

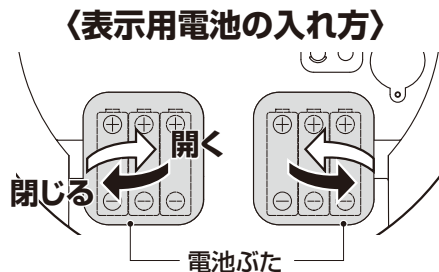
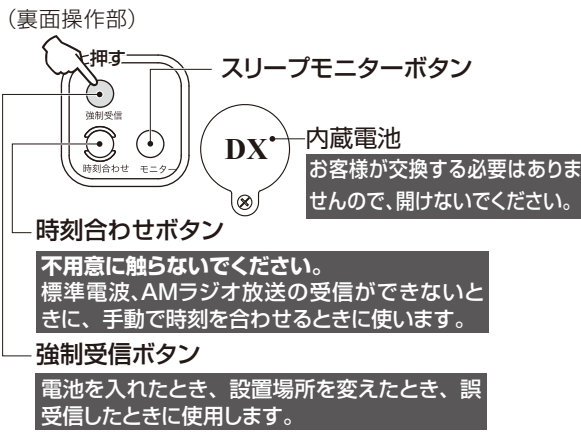
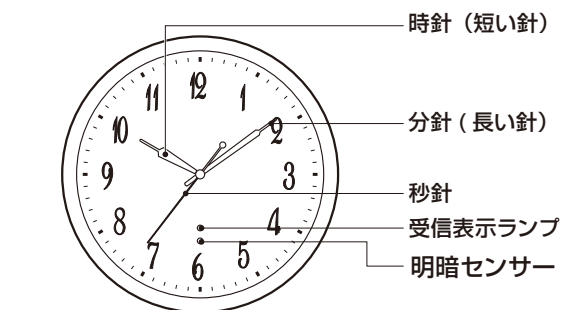
- 製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

付属品

単3形アルカリ乾電池	6個	木ねじ	1個	取付金具	1個	くぎ	4個
取扱説明書	本書	保証書	1枚				

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。
本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

図は操作説明用ですので、実際の商品と異なることがあります。



時計裏面にある2つの電池ふたを取り外して、電池ホルダーの⊕表示に合わせて、電池を6個入れてください。その後、電池ふたを取り付けてください。電池の⊕を逆にすると電池の発熱・破裂・液もれの原因になります。

通常の針の動き
時計・分針: 10秒に1回転します。
秒針: 滑らかな1秒ステップ。
※自動受信で時刻を修正するときは、早送りしたり、停止することがあります。

内蔵電池による時刻のバックアップ

この時計は、工場出荷時に電波を受信させ、内蔵電池により時を刻みつけています。また、内蔵電池により受信を試み、受信に成功した場合、時刻を修正しています。表示用電池を入れて強制受信ボタンを押すと3分以内に時刻を表示します。表示用電池を取り外したり、電池切れのときには、内蔵電池に切り替わり時を刻み続けます。※内蔵電池のみでは、時刻表示、受信表示ランプの点灯/点滅をしません。※表示用電池により、時刻表示をしているときには、内蔵電池をしません。※電波受信機能が「OFF」のときは受信を行いません。

明暗センサーとスリープモニター……暗くなると秒針停止

明暗センサーが暗いと判別した場合、秒針は12時位置に到達したところで停止し、受信表示ランプが消灯します。センサーは、時計の周囲の明るさに反応しますので、昼間や照明器具により照明されているときでも、明るさが不足するとセンサーが働きます。スリープモニターは明暗センサーの機能を確認するためのものです。秒針が55~59秒の位置になったときに、スリープモニターボタンを押し、そのまま押し続けると12時位置になったときに秒針が停止します。ボタンを離すと秒針が現在時刻に早送りで移動します。

標準電波-AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見方

受信の進行状態や受信結果は受信表示ランプで確認することができます。
①表示用電池を入れて、強制受信ボタンを押す……標準電波の受信を開始
約3秒間受信表示ランプが点灯して、15~45秒後に受信している局を表示します。
4回点滅: 福島局選択 6回点滅: 九州局選択 消灯: 福島・九州局ともに電波弱
この間に針が動き出して時刻を表示します。
②標準電波の状態を約10分間サーチ……標準電波の状態が受信表示ランプでわかります
▶点灯: 電波良好 ▶消灯: 電波の状態が悪い ▶時々点灯 電波状態が不安定(受信できる可能性大) (受信できない) (受信できない可能性大)
③標準電波の受信結果を表示
2秒に1回点滅: 標準電波の受信成功 正しい時刻を表示。
10秒に1回点滅: 標準電波の受信失敗→AMラジオ放送の受信モードになる。
④標準電波・AMラジオ放送の受信結果を表示
2秒に1回点滅: 標準電波の受信に成功。
5秒に1回点滅: AMラジオ放送の受信に成功。
10秒に1回点滅: 標準電波受信失敗、AMラジオ放送を受信を継続中
消灯: 標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。

○この説明書でのAMラジオ放送とは、AMラジオ放送で毎正時に流れる時報(ブツ、ブツ、ブツ、ブーン)のことです。放送局によっては、時報音が異なったり、時報を流さないことがあります。
○AMラジオ放送の受信モードのときにも、標準電波の受信を行います。標準電波の受信に成功すると2秒に1回点滅します。
○AMラジオ放送の受信は、受信チャンスが1時間に1回のため、受信に時間がかかります。はじめてAMラジオ放送の受信モードになったときは、条件のよい放送局を選択するため、受信するには最短でも4時間、最長で2日かかります。
○AMラジオ放送による時刻修正は、表示時刻と時報との差が±4分以内のときに行います。

ご注意
●受信に成功してもノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このようなときには、場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
●受信に失敗している場合は、表示されている時刻は正確ではありません。
●受信表示ランプは、受信に成功すると最長で24~25時間表示をします。
●毎正時の前後4分間(56分~4分)は受信表示ランプが消灯していることがあります。(例: 9:56~10:04の間) 毎正時の5分以降に確認してください。
●暗いところでは受信表示ランプは消灯します。

電波を受信できない場合

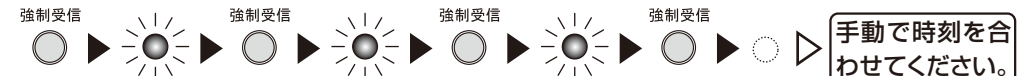
- 2日程度待つ
時計の時刻が標準時と±4分以内であれば、AMラジオ放送を受信して時刻を修正する可能性があります。AMラジオ放送の時報から時刻を修正するには、最短でも4時間、最長で2日かかりますので、2日以上経過を見守ってください。
- 時計を受信しやすいところに移動する
2日以上経過しても受信表示ランプが2秒に1回または5秒に1回点滅していない場合は、AMラジオ受信機でNHKの第一放送がよく受信できるところに時計を設置して強制受信ボタンを押してください。
- 時刻を合わせて使用する
ベランダなど屋外で電波の受信に成功させてから設置するか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波を受信できないところで使用したときの時間精度はクォーツ精度になります。 **手動での時刻合わせ** 参照。

電波受信機能のON/OFF操作

誤受信しやすいところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、電波を受信しないようにすることができます。電波を受信しないときの時間精度はクォーツ精度になります。

電波受信機能をOFFにするには(受信機能を無効にするには)

図のように強制受信ボタンを4回押します。ボタンを押すタイミングによっては、OFFに切り替わらないことがあります。このようなときには、操作を繰り返してください。



押す 点灯 押す 点灯 押す 点灯 押す 消灯
(受信表示ランプが点灯したら、すぐに強制受信ボタンを押してください)

※電波受信機能がOFFのときに強制受信ボタンを押すと、受信表示ランプは消灯したままで、針が早送りで動いたり、止まったりしてから時刻を表示します。

電波受信機能をONにするには(有効にして受信を開始するには)

電波受信機能は、工場を出荷するときにON(有効)にしています。OFFの状態からONにするときには、時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後必ず強制受信ボタンを押して受信を開始させてください。



ご注意
※この説明文の中で「押す」は、「押して、すぐ離す」ことです。
※表示用電池を取り出しても設定を保持しますので、電波受信機能をOFFからONにするには、必ず上記の操作をしてください。

ご使用の手順 はじめてお使いになるときは、ここからお読みください。

AMラジオ(推奨NHKの第一放送)がよく受信できるところに掛けてご使用ください。

この時計は、時刻を合わせて出荷しております。

表示用の電池を入れ、強制受信ボタンを押してから時計を掛けてください。強制受信ボタンを押してから3分以内に時刻を表示します。

〈表示用電池の入れ方〉および 〈時計の掛け方〉参照

※時刻合わせボタンを押さないでください。押すと時刻が変わってしまいます。
押ししまった場合は、ベランダなど電波を受信しやすいところで強制受信ボタンを押し、標準電波を受信させてください。受信に成功していることを確認して、時計を掛けてください。
●この時計は、午前と午後を識別しています。手動で時刻合わせをした場合、12時間ずれ、本来夜間に行うべき自動受信が昼間行われることがあります。

この時計は正しい時刻に合わせるために、
① 福島局または九州局から送信されている標準電波の受信を試みます。
② 標準電波の受信に失敗したときには、AMラジオ放送(時報)の受信を試みます。
標準電波-AMラジオ放送 受信の流れと受信表示ランプの見方 参照

受信結果は、受信表示ランプで確認することができます。
2秒に1回点滅: 標準電波の受信に成功。……正しい時刻を表示
5秒に1回点滅: AMラジオ放送の受信に成功。……正しい時刻を表示
10秒に1回点滅: 標準電波受信失敗、AMラジオ放送の受信を継続中
消灯: 標準電波、AMラジオ放送とも受信できない。
※強制受信ボタンを押したときは、15分以上経過してから受信結果を確認してください。

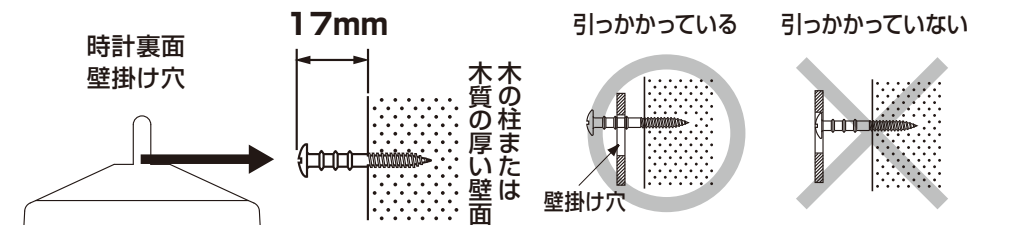
時計の掛け方

掛け方が不適切な場合、時計が落下する危険があります。

- 垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れる恐れがあります。
○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け穴に掛け具(木ねじや取付金具)がしっかり掛かっていることを確認してください。
○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け穴にしっかり掛かるものを選んでください。
○ドアを開閉するときの振動が伝わらないところに設置してください。

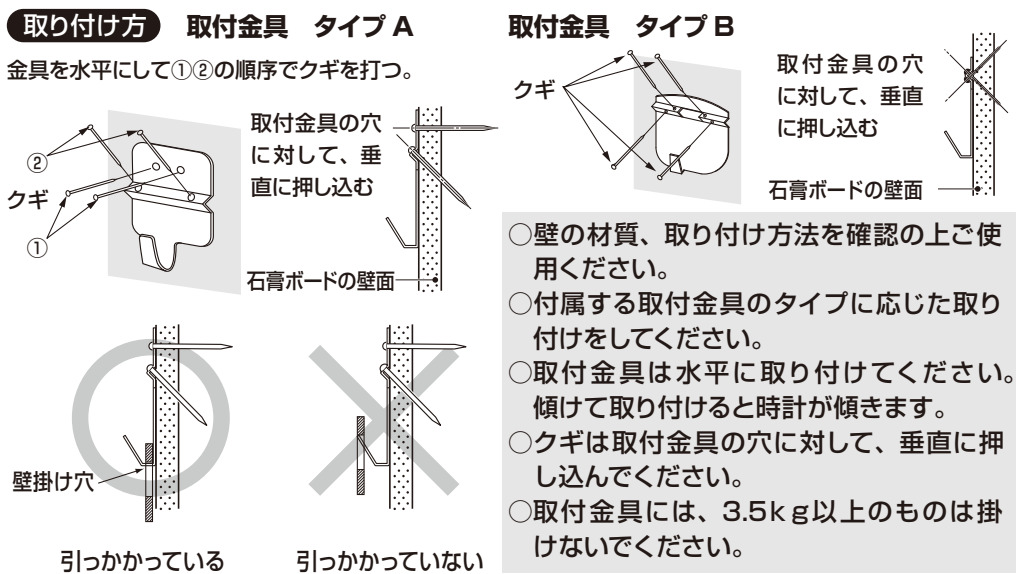
木の柱または木質の厚い壁面の場合

- 付属の木ねじが使用できる場所は、木の柱または木質の厚い壁面です。
●木ねじは下図の通り、壁面にしっかりねじ込んで固定してください。



石膏ボードの壁面の場合

- 付属の取付金具を使用できる場所は、石膏ボードの壁面です。
●取付金具は下図の通り、付属のクギ4本でしっかり固定してください。



その他の壁面の場合

- コンクリートなどの壁面に掛ける場合は、壁の材質・構造と時計の重量に合った、市販の掛け具をご使用ください。その際、両面テープ式や吸盤式は時計が落下する危険がありますので、使用しないでください。

電池の交換時期お知らせ機能……明るいところでも秒針が停止 **重要**

電池の交換時期になりますと、明るいところでも秒針が12時位置で停止します。時計および分針はこのような状態になってから約1ヵ月間[※] 時刻を表示し続けませんが、お早めに電池を交換してください。

※ご使用状態により、この期間は前後します。
※電池を長期間使用しつづけると、電池からの液もれが発生しやすくなります。時計が動いていても5年に1回定期的に交換してください。

使用する電池の条件

電池を長期間使用しますのでつぎのことをお守りください。
条件を満たさない電池を使用すると、電池からの液もれにより時計や壁面などに損傷を与えることがあります。また、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。

- 電池に表示されている「使用推奨期限」が電池交換時より4年先以上
例: 2012年3月に交換03-2016より先の「使用推奨期限」表示のある電池
- 同じメーカー、同一種類、同一の「使用推奨期限」のもの
- 未使用の電池
- 単3形アルカリ乾電池



手動での時刻合わせ……電波が受信できない、任意の時刻に合わせたい

受信できないところや意図的に時間をずらしてお使いになるときは、手動で時刻を合わせることができます。時間精度は、クォーツ精度になります。

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを離しているのに、針が早送りで動いている場合は、通常の針の動きになってから操作をしてください。
※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を修正します。
電波受信機能のON/OFF操作 参照。

時刻合わせボタンを押すと針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押してつづげると早送ります。このとき、秒針は12時位置になったときに停止し、ボタンを離したときに動き出します。

秒針の動きについて
秒は、時刻合わせボタンを離したとき、「0秒」に設定されています。秒針が早送りで動いているときに、時刻合わせボタンを離すと、そのまま早送りで現在時刻の秒位置まで動き、その後滑らかなステップで1秒単位に動きます。

なぜ?…疑問に答えます

暗いところで、針が早送りで動いた。
これは、針の位置を修正するために意図的に動かしているものですので、故障ではありません。
強制受信を押しても受信表示ランプが点灯しない。
電波受信機能がOFFです。 **電波受信機能のON/OFF操作** 参照。